第４回　宇部市渡辺翁記念会館保存活用検討委員会　議事録

日 時：令和８年(2026 年)10 月 28 日（水）10：00～11：30
場 所：市役所５階 第２委員会室

出席者
【委員】
清水　里司　　原田　正彦　　髙瀬　太　　脇　和也　　渡邊　祐二　　礒田　智沙恵
白石　光芳　　篠澤　朝孝　　内田　康博　　福田　空　　長谷川　耕二

【宇部市】
観光スポーツ文化部　部　長　青山　佳代　　理　事　白井　幸雄　　次　長　明徳　義和
　　文化振興課　課　長　徳田　泉　　副課長　越智　英和
　　文化振興係　係　長　中谷　尚子　　係　員　伊藤　瑞奈

【宇部市教育委員会】
学びの森くすのき・地域文化交流課　副課長　石川　健

≪第３回会議≫
１　宇部市渡辺翁記念会館の活用方法（答申案）について
答申案、答申案別紙「具体的な活用方法（案）」について意見交換

答申案

意見なし

具体的な活用方法（案）

全体への意見
（委員）　●１から６の順列を付けずに、“・”などで標記してはどうか。

文言への意見
・1 市民の多様な文化芸術活動と日常的な利用のサポート機能
（委員長）●“サポート機能”を“サポート機能の充実”にしてはどうか。

・2 シビックプライドの醸成と記念会館の歴史の顕彰
（委員）　●歴史を認識することによって、シビックプライドが醸成されると考えられるため「2 記念会館の歴史の顕彰とシビックプライドの醸成」に変更してはどうか。
（委員）　●“記念会館”を“渡辺翁記念会館”にしてはどうか。

・6 重要文化財としてのバリューアップ

（委員）　●“村野建築”を追加し、「6 重要文化財である村野建築としてのバリューアップ」に変更してはどうか。

（委員）　●市民にとって、“村野建築”は聞きなじみがない可能性があるため、“村野藤吾の作品“など、表現を検討してはどうか。

（委員）　●答申に、渡辺翁記念会館が村野建築であることを記載しているため、具体的な活用方法には記載をしなくて良いのではないか。
また、「6 重要文化財としてのバリューアップ」の“重要文化財”の中に、村野建築であることが含まれているのではないか。

（委員長）●渡辺翁の遺徳など、渡辺翁記念会館が持つ様々な要素から、重要文化財に認定されたと考えると、“村野建築”を追加しなくても良いのではないか。

・その他

（委員）　●一番初めに、「市民宣言にある“宇部の精神”を伝えていくための拠点」を追加してはどうか。

（委員長）●宇部の精神は、答申案の冒頭に記載があるため、追加しなくて良いのではないか。

順番への意見

・順番を入れ替える

（委員）　●渡辺翁記念会館の価値や歴史を伝えるため、「1 市民の多様な文化芸術活動と日常的な利用のサポート機能」と「2 シビックプライドの醸成と記念会館の歴史の顕彰」の場所を入替えてはどうか。

（委員）　●渡辺翁記念会館の独自性を伝えるため、「2 シビックプライドの醸成と記念会館の歴史の顕彰」と「6 重要文化財としてのバリューアップ」を最初にしてはどうか。
しかし、市民にとっては、順番を変えない方がわかりやすいとも思う。

（委員）　●市民にとっての使いやすさを優先して、「6 重要文化財としてのバリューアップ」のみ順番を変更して、３番目にしてはどうか。

・順番を入れ替えない

（委員）　●渡辺翁記念会館の利用しやすさや、多様な文化創造を優先して、順番を変えない方が良いのではないか。

（委員）　●答申を前面にアピールすることが重要であるため、具体的な活用方法の順番にはこだわらない。

（委員長）●渡辺翁や俵田翁の“共存同栄”には、市民に芸術を広く普及させたいという思いも含まれていたのではないか。
渡辺翁記念会館の市民利用が減少している現状を踏まえ、その思いを実現するためには、市民の文化活動を活性化していくことが重要ではないか。